

きょうされん全国大会 ～IN滋賀～

基調報告では、障害者死傷者 2.06% 一般死傷者 1.03% (NHK 調査対象は主要被災地地域 28 市町村) の数値から東日本大震災がいかに甚大であったかを痛感する。障害ゆえの犠牲=天災ではなく人災である。日本における障害者施策を変えていかねばならないという報告。

そして、東日本大震災 3つの検証が必要で、

- ①震災における障害者の死亡者は何人だったのか。
 - ②震災直後の生活把握
 - ③震災に関するガイドラインや対策は障害者ということから有効だったのかが挙げられました。
- 3つの課題として

①障害者基本法を抜本的に見直す。②障害者総合福祉法を制定③障害者差別禁止法を制定であることを確認し、4つの今後の活動について定義をされました。

- 1) 被災地の辛苦を分かち合い、障害のある人を支える作業所などの復興をしましょう
- 2) 骨格提言の完全実現のための新しい運動を創りだしましょう
- 3) 山積する課題に応えるための新たなエネルギーを生み出しましょう
- 4) 過去の優れた実践に未来への視座を見出しましょう。

たくさんの方で疲れたようです。外に出て琵琶湖の景色を2人で楽しみました。あいにくの曇り空でしたが、さわやかな空気を吸って少しずつ元気になってきたようです。その後、「手裏剣に思いをはせて...」利用者部会に参加しました。夜は車で10分の京都に移動し、美味しいご飯を食べて終了。

ホテルの屋上の大浴場も気に入ったようでした。



美術館へGO！

芸術の秋です！ 鑑賞しませんかというご案内を県立美術館様より頂き、就労支援センターくまもと内で参加者を募集したところ、5名が参加希望されましたので、行ってきました。

熊本県立美術館では

「今西コレクション」「参勤交代」
「印象派の誕生」が開催中



世界各国の美術館の名画を集めて「印象派の誕生」として展示されている作品や、今西コレクションの名品展、参勤交代「大名たちの大移動」といった展示物品を観賞しました。

各展示室には療育手帳を提示すれば無料で入館でき、素晴らしい作品を数多く見る事ができました。油絵といっても写真のように西欧の風景や人物達が目の前に浮かび参加したメンバーの人達は、感動されていました。室内だけの仕事だけではなく、外の社会に触れることも大切な事...

午前中しっかりと仕事をして食事をしたのち、熊本県立美術館へ...。当日は、秋晴れの中でしたので、美術館見学後は、二の丸公園内を散歩したり、熊本城を仰ぎみる事ができ、楽しい研修となりました。

熊本城二の丸公園で「はいチーズ」

皆さん笑顔でいっぱいです！

実習生受け入れ

熊本県立熊本高等技術訓練校から実習生



熊本養護学校から実習生



9月26日から2週間
松橋養護学校の実習

生の方を受け入れ10月7日まで行いましたが、その後2人の方が実習に来られました。熊本高等技術訓練校の実習生の方は10月15日から就労支援センターくまもとで働くことになりました。よろしくお願いいたします。



「なんでも実務 なんとか実務」学習会

就労継続 A 型事業所における実務に関する勉強会を昨年度、一昨年度行われた指導監査で県より指導があった内容について勉強会を開催し、現在行っている実務について学びました。その後、サービス管理責任者としての責務とは何か？みのりの山下さんは、「仲間の仕事に対する責任」「職員の仕事に対する責任」「地域の方との連携」の大切さと心のふれあいの大切さをお話いただきました。

「ひとりひとりを見ること」「ふれあうこと」「向き合うこと」であると共感する事ができました。途中休憩時には、きょうされんの冬季販売の試食会。お菓子やビスケットはとても美味しいものです。今年度は、冬季販売に取り組み、グループホームにおけるトイレ改修工事の資金にしたいと計画しています。高齢者の方もおられるので、和式のトイレの改修が必要です。50万円程度必要ですが、今年は10万円程度を一つの目標として取り組んでいきたいと思っております。ご協力お願い申し上げます。

「ひとりひとりを見ること」「ふれあうこと」「向き合うこと」であると共感する事ができました。

途中休憩時には、きょうされんの冬季販売の試食会。お菓子やビスケットはとても美味しいものです。

今年度は、冬季販売に取り組み、グループホームにおけるトイレ改修工事の資金にしたいと計画しています。高齢者の方もおられるので、和式のトイレの改修が必要です。50万円程度必要ですが、今年は10万円程度を一つの目標として取り組んでいきたいと思っております。ご協力お願い申し上げます。

第1回暮らし部会

基調講演「社会参加と日中活動支援の取り組み



み」

かしはらホームの古賀知夫氏は、くらしの事を考えた場合に「日中活動の場」「居住の場」「余暇の場」の3つの場があり、日本人は余暇の取り方が脆弱である事を指摘されました。また、日中活動の場と居住の場における支援の違いについてお話を頂き、その根本が主役は「仲間」であるという原点を私たちは忘れてはいけないこととお話して頂きました。そして、東北大震災から私たちは学ぶ事ができた点として、情報からの遮断、予期せぬ干渉、平時からの逸脱、動けぬ環境、理解できぬ状況を上げられ、暮らしを考えた場合に、私たちは、その人ならではの歴史があることを認識し、その方の環境（人、家と地域、社会）を整備し、安心感が必要であり、その感覚は一つではないことを指摘されました。私たちは、日常の当たり前の暮らしのもつ意味を考え、自分の価値観との違いを意識していかなければなりません。このようなお話をお聞きする事ができたことを本当に嬉しく思います。

～国際フェアトレードフェスタ～

スリランカの農業大臣を始めフェアトレードやスリランカ貿易に詳しい方々をお招きし、その理解と啓発を深め、観光や貿易など熊本とスリランカの関係における今後の可能性を探ることを目指して開催されました。音楽ステージやスリランカの観光紹介など様々なイベントがありたくさんの方が参加されました。私たちは、多目的ホールの中で、スリランカのカレーを食べました。とても香辛料が効いて、口の中がヒリヒリしました。午後はステージフォルクローレ演奏がありスリランカの民族音楽を楽しむことができました。心にしみる音色で皆さんの心も癒されました。その他に、フリーマーケットや白い貴婦人にも立ち寄って買い物をしました。皆さん、楽しい日中を過ごされました。



その他いろいろな記事がありますが、詳しくはホームページをご覧ください！

<http://blog.canpan.info/zirituouendan>